

天主閣

だより



マキキ聖城キリスト教会

「教会の思い出」

日本語部議長 小林潤

私の教会との出会いは、東京聖書教会の幼稚園でした。そのころ住んでいた家のそばにはお寺の幼稚園と教会の幼稚園があったのですが、なぜかはわかりませんが、両親は私たち兄弟を教会の幼稚園に通わせました。私はそこで幼稚園から小学校六年生まで日曜学校に通いました。その教会は、ピーチ先生という米国人の宣教師の方が設立され、教会の中にピーチ先生のお宅がありました。そこは古い洋館で内装もとてもアメリカ風で小学校の高学年になって先生のお宅での分級に行くのが少し大人になった気分でした。ワクしたものです。ただ、このころは教会で神様に触れるということより、日曜学校の後に帰りの小学校の校庭で遊ぶのが楽しみで行っていたというのが正直なところでした。

私の次の教会の思い出は二〇年後になってしまいます。ハワイへ駐在で来て結婚をし、その後、マキキに来るようにはなりませんが、教会に本堂に行くようになったのは日本に帰国してから通うようになった東京・東久留米の教会でした。ここはアメリカ人の牧師ご夫妻が自宅を開放して礼拝を行っていて、また、東久留米にはCAJ (Christian Academy of Japan) というインターナショナルスクールがある関係で会員のほとんどがバイリンガルもしくはアメリカ人で英語と日本語

の両方で礼拝が守られていました。先生の四人のお子さん、その友達等も沢山集っていて毎週楽しい交わりを持つことができました。そして、そこで聖書の学びを深め、この教会で二〇〇三年に私は洗礼を受けました。ちなみにそのときに一緒に洗礼を受けた小学生が後にハワイに来て家にホームステイをする事になるとはもちろんそのときには思ってもいませんでした。

東京で洗礼を受けてから数か月後、二回目のハワイ駐在の命を受け、マウイ島での生活が始まり、カフルイ・ユニオン教会に通うようになりました。東京から一転、のんびりとしたマウイでの生活が始まり、当初、マウイへ来るかどうか迷っていた妻も来る事になり、そこでの四年半の生活は、今考えるとオアフではあまり触れることの出来ないうわいの昔からのアロハスピリットに包まれたものであったように思います。この間には、義母の逝去という悲しみがありました。それを機に義父が洗礼を受け、そしてその翌年に息子が生まれるという恵みにもあずかりました。

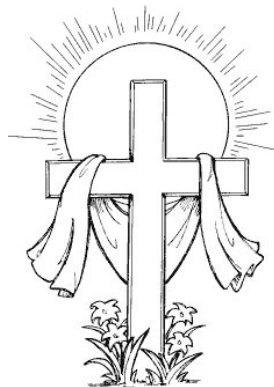
そして仕事の都合でマウイからオアフへ引っ越してきて十年余り、今はマキキが私の教会です。こうやって考えてみると神様はどのような場所においても私にもっともふさわしい礼拝の場所を与えてくださっていることを感じます。そして、日曜学校から二〇年あまり教会から離れていてもその間、ずっと待っていてくださいました。本当に感謝です。

「主の使いは主を恐れる者の回りに陣を張り、彼らを助け出される。主のすばらしさを味わい、これを見つめよ。幸いなことよ。彼に身を避ける者は。」(詩篇三四篇八―九節)

今月の言葉

「偉大な勝利は、あなたの悪に対する権威ではなくて、あなたの上に神の権威とあなたとともにある神の臨在のゆえです。あなたが神のためにしたことではなく、神があなたのためになされたことです。これが、喜ぶべきことです。」

私たちはいつも自分がしたことではなく、神がしてくださったことを覚え、感謝する姿勢が大切です。



親子会便り

先日、イースター・ティータイムをもちました。普段なかなかゆっくりとできないママたちと一緒に、持ち寄られたお菓子とお茶で、最近気付いたことなどをシェアする時となりました。

また、親子会のホープである小野シスターズがフラ賛美を披露してくださいました。神奈川県大和市の髙座教会付属みどり幼稚園の同級生がゴスペル・シンガーの横山大輔君。小さい時に信仰の種を蒔かれた沢山の子供たちから、芽が出て膨らんで、花を咲かせた人たちの一人となったことにお互い喜び、大輔君がハワイで創作した曲「約束の虹」に、神様からいただいた踊りを振り付けたそうです。アメージング！

その後一人一人が日ごろ感じたことや、感謝をシェアする素晴らしい時となりました。

親子会 毎週月曜日 午前九時四十五分より

テリーさんの簡単クッキング 豚ヒレ肉のワイン蒸し 四人分



<材料>

豚ヒレ肉塊 1本 500g、塩コショウ 各適量、にんにく みじん切り大さじ1、玉ねぎ 1/2個、セロリ大さじ3、サラダ油 大さじ1 1/2、バター大さじ2強、白ワイン 1カップ、トマトピューレ 大さじ2、ローリエ 1枚

1. 豚ヒレ肉は長さを半分に切り、塩、こしょう各少々全体にふり、手でこすり、もみ込むようにして全体になじませ、下味をつける。
2. タコ糸で肉を縛る。まず片側に、ぐるりと巻いて結び目を作り、肉の厚みが同じようになるように形を整えながら、ぐるぐるときつめに巻いていく。はしまできたら少しきつめに糸を引いて結ぶ。
3. 厚手のなべに、サラダ油、バター各大さじ1 1/2を熱し、中火で肉の両面をころがしながら焼く。焼き色がついたら、ニンニク、玉ねぎ、セロリを入れ、肉にまぶしつけるようにして、きつね色になるまで炒める。白ワイン、トマトピューレ、ローリエを加える。
4. ふたをし、弱火で、時々肉を返しながら25分ほど蒸し煮。
5. 肉が煮えたら取り出し、さめないようにフォイルで包んでおく。煮汁は2/3になるまで煮つめて、裏ごし、マスタード、塩こしょう、バター小さじ2を溶かす。肉を5ミリ厚さに切り皿に載せ、ソースをかける。仕上げに加えるマスタードがソースの味をひきしめます。

今月の証

「種が撒かれる時」

熊谷 恵

二〇一八年度、宣教部カウンシルの奉仕を任されました。久々に宣教の奉仕に戻ってきて、驚くことがいっぱいあります。まずは、メンバーの方々のパワフルさ。マキキ教会を日本から訪ねてくださる方々の数も数年前の数倍にもなっているのと同じに、宣教部のメンバーの方々の意欲的な奉仕には、目を見張るものがあり、毎回、励まされています。

三月三日土曜日、今年初めての訪問がありました。京都橘高等学校の生徒、先生そして添乗員、カメラマンの方々です。連絡を頂いたのが二週間ほど前、時間も無いのに、無理だから、お断りしようと思っていたところ、姉妹から「日本の教会では、千枚のチラシを配っても、三十人も集まるかどうか」という現状の中、わざわざマキキ教会に来たいと言ってください。こんな神様からのチャンスが無駄にはいけない！との励ましを頂き、その上、プログラムも完成させてください、当日を迎えました。

「恐れないで、語り続けなさい。黙ってはいけない。」使徒の働き一八章九節

「ご奉仕をしてくださる方は八時集合。橘高校の方々の到着予定時間は九時でした。準備が完了し、祈った直後に早々とバスが到着。予定より二〇分早くプログラムが始まりました。英語部のウエイン・イバラ牧師の歓迎の言葉から始まり、マキキの紹介ビデオ、新移民一世の佐藤瑞穂姉と村松世伊子姉の証し。少し時間に余裕があったので、橘高校の先生のお話。と、盛りだくさんの内容ですすめられました。

初めて教会に足を踏み入れた人たちにとっては、教会の礼拝堂にも驚きだったでしょう。ですが、

クリスチャンだという生徒もいることがわかり、よい交わりのもととなったことは、とても感謝でした。

また、フローの祈り会に出席している英語ミニストリーの方が後ろの席で祈ってくださいたり（これはあとで洋子姉より知らされました）松村さん兄弟も駆けつけてくださったりと、神様の愛がちりばめられた時間でした。

聖書の中には

「涙とともに種を蒔く者は、喜び叫びながら刈り取る。種入れをかかえ、泣きながら出て行く者は、束をかかえ、喜び叫びながら帰って来る。」詩篇一二六篇五、六節

と、あります。マキキ教会の宣教部のみんなの《涙》は、《笑い涙》です。主の愛を伝えること、御言葉を伝えること、いつも暖かく愛を持って「今も生きているイエス様を現す。」それを喜んで実践できることは、なんと感謝なことでしょう。

また、二〇一八年度レインボウコネクション・レシービングで、土佐塾と清和の生徒十六名と、引率の先生三名を三月二十日から三〇日までお迎えし、無事に高知に帰られたことは、皆さんの記憶に新しいでしょう。さまざまなプログラムの中で、中学生や高校生の子供たちにとっては驚くことばかりだったようです。その一つ一つの中に、神様の愛が大きく働いてくださり、みんなの笑顔がだんだん広がっていく様子を見ることは、神様の愛を見せていただくことのできる貴重な一瞬でした。

御言葉の通りに生きたい、いつも喜んでいたい、と思う方は、ぜひ宣教部の働きに参加して下さい。きっと、イエス様を感じ、感謝し、喜びにあふ

れた信仰生活に導かれ、毎日が証しでいっぱいになるはずですよ。

最後に、こんな役に立たない僕（しもべ）を何とか使おうと、ここに身を置かせてくださっている神様に感謝です。何もできないからこそ、主は憐れんでくださり、主に栄光を帰し、証しをするために立ててくださいているのです。私にはできない……と、思っているあなたのタラントを土の中に埋めないでください。あなたが差し出したときに神様がそれを何十倍にもして用いてくださるのです。

「みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くてもしっかりとやりなさい。寛容を尽くし、絶えず教えながら、責め、戒め、また勧めなさい。」テモテロ 四章二節

宣教部ってなに？

メンバーの一人一人が「証し人」として訓練され、それを見る人々が、マキキ教会の交わりを通して、天の御国への道しるべを見つけ、御国を味わい、神に用いられる器になることが、宣教部の目的です。

皆さんも、天主閣便りに「証し」を投稿しませんか？ 多くの方に伝え、主に大いに用いられますように！



今後の予定

四月

礼拝メッセージは毎週、藤浪義孝牧師です。

八日(日) 教会創立記念礼拝

十五日(日) ソフト・ボール 午後二時半

十七日(火) 虹の集い

二七日(金) オハナ・ミーティング

五月六日(日) ヤンジェネ 午後二時より

五月二九日(火) 共愛学園 来会

各ミニストリー

のぞみの会 毎週水曜日 午前九時

フラ・クラス 日曜日 午後二時

ウクレレ 水曜日 午後六時半

水曜日 午前九時半

金曜日 午後十二時半

アートクラブ 日曜日 午後二時

編集後記

四月です。日本人の私は、この時期、何もかもが新しくなるような気がします。「古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。」藤浪先生の就任を心から主に感謝いたします。 玉寄 朋子

マキキ聖城キリスト教会 宣教部

編集 玉寄 朋子

イラスト、レイアウト 大塩 麻由

